



ものづくり 匠に会える京浜島

京浜島ニュース

京浜島ニュースとは？

東京都京浜島工業団地協同組合連合会では、京浜島で働く魅力を高めるため、京浜島の将来像（京浜島まちづくりビジョン）を検討しています。「京浜島ニュース」では、京浜島まちづくりビジョン検討の経過の様子や、島の将来像実現に向けての取組みを紹介していきます。

KOFとは？

かつて島内で見られた「仲間回し」や、「島内交流（顔が見える関係づくり）」を活性化させるため、島内企業の工場見学「京浜島オープンファクトリー」を、平成28年度より実施しています。
“お隣さん”を知り、「従業員同士」の自然な交流から、今後、企業同士の「新たな事業連携」が期待されます。

Vol. 10
2019/9

第5回 京浜島オープンファクトリーを実施します！

ものづくり企業約200社が集積する京浜島において、立地企業がお互いを知ることとを目的とした工場見学（KOF（京浜島オープンファクトリー））を行います。島内の活性化・連携を強めていく取り組みとして今回で5回目となります。

■見学対象者 …… 京浜島企業の役員・従業員の皆様 等

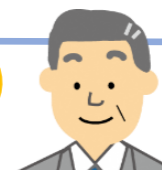
お隣さんと交流
したい。



どんな工場
なのかな。

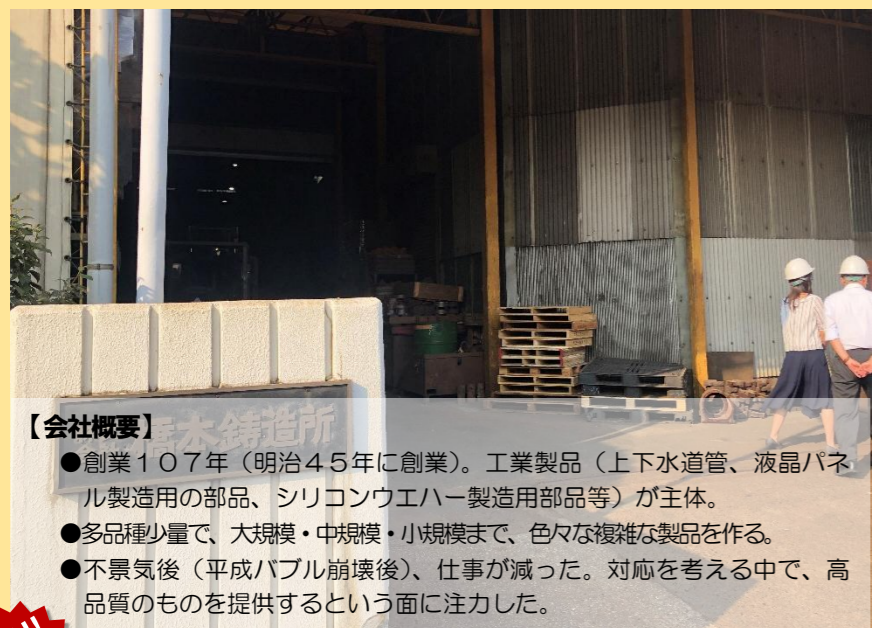


関連業界の現状
を見たい。



株式会社橋本铸造所

〈10月23日(水) 10:00~12:30〉



【会社概要】

- 創業107年（明治45年に創業）。工業製品（上下水道管、液晶パネル製造用の部品、シリコンウエハー製造用部品等）が主体。
- 多品種少量で、大規模・中規模・小規模まで、色々な複雑な製品を作る。
- 不景気後（平成バブル崩壊後）、仕事が減った。対応を考える中で、高品質のものを提供するという面に注力した。

注目!!
ポイント

- 明治45年創業 東京で一筋一世紀。複雑形状物のパイオニア。
- 難しい環境調整（温度、湿度）も対応できる熟練の技を持った職人が集まっています。
- 難しい要求であってもチームで話し合い知恵を出し合って、臆せず対応しています。



絶妙な
環境管理

電気炉から注ぎ込まれる溶湯（溶かした鉄）は繊細な管理（温度・湿度など）の上成り立つ。



複雑
薄型
形状

薄肉・複雑形状の部品も製造可。

株式会社東電化

〈10月24日(木) 10:00~12:30〉



【会社概要】

- 昭和21年に創業、めっき専門の会社としてスタートし、現在はフープめっき（銅合金・アルミ等のコイル材にめっき加工）を専門に行う。
- 多品種、少量、短納期、マスキング処理等のニーズに柔軟に対応。
- めっき後の排水は、めっき団地内（めっき工場8社）の共同公害処理センターにパイプラインで送り、無害化処理している。

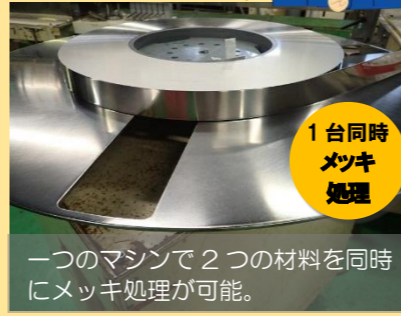
注目!!
ポイント

- コイル材の「ある特定の部分」にマスキング処理を行う、ストライプ（部分）めっきにも対応しています。
- 4台の生産設備による連続フープめっき処理で、バラ付きの少ない安定した品質の量産技術・体制を確立しています。
- 常に加工プロセスの改善、効率化を進め、コストメリットが提案できる生産体制を構築しています。



環境に
配慮!!

土壌汚染対策により2階でメッキ処理を行う。1階では材料や納品物を保管している。



1台同時
メッキ
処理

一つのマシンで2つの材料を同時にメッキ処理が可能。

株式会社エコ・エイト

〈10月25日(金) 10:00~12:30〉



【会社概要】

- 一般廃棄物、産業廃棄物の収集・運搬及び中間処理を行う。
- ペットボトルやアルミ缶等のリサイクル工場や産業廃棄物積替保管施設や中間破砕処理施設を保有し、大量のごみ処理を行う。
- 京浜島リサイクルセンターは、破砕処理（199t/日）及び、圧縮処理（220t/日）が可能な都内有数の大規模中間破砕処理施設。

注目!!
ポイント

- 収集・運搬と中間処理を一括で引き受けることが可能。
- 日々廃棄物の種類が異なるため、機械による分別は難しく、全て手作業の分別を徹底しています。
- 一般の廃棄物業者ではなかなか取り扱っていない医療系廃棄物の収集・運搬も行っています。



車両等
107台

収集運搬車両：パッカー車やコンテナ車など合計107台を保有。



破砕処理
199t/日

粉砕機：廃プラスチック類、鉄くず、木くずなどの混合廃棄物を日量199tの処理能力を有する。